ボランティアガイドの会

第37号(2017年9月)

あいさい通信

発行: あいさいボランティアガイドの会 編集:若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話: 0567-55-9993

特ダネ 得だね 写真

愛西市観光協会が主催する第1回"出逢い ふれ逢い あいさい写真コンテスト"の応募締め切り 9月30日が迫っています。最優秀賞に入選すると賞金は5万円です。

世の中、いろいろな写真コンテストが実施されていますが、それぞれ目的が異なり、審査委員の 趣旨によって受賞作品が決まります。昨今は、写真そのものがデジタル化などの技術革新によって



愛西市観光協会が "出逢い ふれ逢い あいさい写真コンテスト"を開催する目的の一つは、一般市民の視点から愛西市の観光資源を掘り起こしていただくことにあると私は考えます。佐屋町の水鶏塚、勝幡町の信長親子像、木曽川の自然風景など題材は豊富にあります。尾張津島天王祭の市江車行事や愛西市内の年中行事も良い題材です。また、過去に、花蓮の束を持ったご婦人、桜並木に桜吹雪が舞っている写真、ミサゴ(鳥)が水面で魚を捕える写真、オクラレルカ(花菖蒲)の中で歌うオオヨシキリ(鳥)・・・など、新聞紙上や個展などで見事な作品を見た経験があります。もちろん、これは一個人の意見です。審査会で何がどのように評価されるかはわかりません。

受賞作品は、10月中旬に愛西市観光協会役員他で構成される委員会によって厳粛公正に審査・決定されます。あなたがとらえた"これぞ、あいさい"という傑作をご応募下さい(6頁参照)。

ユネスコ登録後初 の 尾張津島天王祭



夏の風物詩「尾張津島天王祭」が7月23日(日)に開催されました。2016年12月、「尾張津島天王祭の車楽舟行事」が全国33件の「山・鉾・屋台行事」の一つとして、ユネスコの無形文化遺産に登録されて、初年度の祭礼となります。

登録の結果、祭の知名度は一気に広まっていたようで、来場者は大幅に増加し、過去には人がいなかった深夜の祭河戸で行われる屋台組み変え



作業さえ見学者が溢れ、さらに、朝祭での鉾持ちの飛び込み場面(写真①)には、大勢のカメラマンが大挙し、見事な飛び込みに、大きな拍手が起こっていました。そして、雨が降りそうな天気が神前奏楽まで保たれ、無事盛大に終了したことも記憶に残る年となりました。その一方で、急激な観光客の増加は、例年以上に周囲の交通渋滞を引き起こしていました。

7月31日・8月1日には、津島市の天王川公園で津島神社の神職と巫女により神葭祭(写真②)が開催され、厄払いが祈願されていました。なお、愛西市観光協会主催で、8月末まで、今年の尾張津島天王祭に使われた布鉾が愛西市文化会館ロビーに展示されています。

愛西の夏祭 子供ザイレン・納涼まつり



7月23日(日) \sim 8月6日(日)、愛西市各地で、子供ザイレン、提灯とぼし、納涼まつりなどが開催されていました。

先ず、23日(日)下一色町、25日(火)見越町で子供ザイレンがあり、提灯とぼしなどがありました。

7月29日(土)には、四会町の八幡社周辺で、午後6時頃から子供ザイレンと納涼祭が融合発展したサマーフェス

タと称した祭が開催され、神社での御祈祷前後に、映画会やステージイベントなどが開催され、提灯とぼし(写真③)、打ち上げ花火などもありました。また、小茂井町の農村公園では、早朝からミコシ製作、子供獅子が始まり、夕方、提灯トボシ(写真④)、ミコシ流しという子供会行事に加え、大人も参加した防災事業、ビンゴゲームやカラオケ大会などを加えた祭がありました。また、西赤目町でも子供ザイレンがあったようです。

7月30日(日)16時頃からは、勝幡納涼夏祭が勝幡駅前の勝幡小学校周辺で開催され、町中や校庭に竹灯篭の展示、校庭に屋台が並びました。

(3頁に続く)





愛西の夏祭 子供ザイレン・納涼まつり

勝幡小学校校庭の特設ステージでは、オカリナ 演奏、佐織中学校のマーチングバンド、ヒップポップダンスなど、そして、盆おどりも開催されました。同時に駅前広場と町中では、フォークバンド(写真⑤)、親父バンドなどのステージ、さらに、自転車の曲芸ショーなどがありました。

また、7月30日(日)は、東赤目町、下大牧町で子供ザイレンが開催されたようです。特に下大牧町では、子供たちが手作りの祠を作り、木曽川堤防に祀り、その中に津島神社御札などを入れ、夕方参拝し、提灯とぼしで子供花火を楽しんだそうです。

8月5日(土)佐屋会場と八開会場で、6日(日) 立田会場と佐織会場で、愛西市納涼まつりが開催 されました。いずれの会場も、それぞれの商工会 のみなさんが屋台で軽食を提供していました。

8月5日(土)の佐屋会場では、夕方6時頃から盆踊りが始まり、愛西市長をはじめ佐屋地区の みなさんがお揃いの浴衣で盆おどりを踊ってい

る姿(写真⑨)が印象に残りました。一方、八開会場では、子供たちが打つ太鼓の演奏(写真⑦)による盆踊りがあり、最後には花火が打ち上げられて、中学校の夜空を彩っていました(写真⑥)。

8月6日(日)の佐織会場では、佐織中学校のマーチングバンド(写真®)が浴衣姿でオープニングを飾り、盆踊りが始まりました。一方、立田会場では、キャラクターショーなどが開催され、子供たちが打つ太鼓の演奏(写真⑩)による盆踊りがありました。また、

内佐屋町、塩田町で子供ザイレン・提灯とぼしが開催されていました。 (4頁に続く)



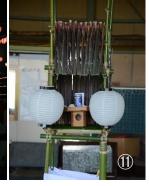






愛西の夏祭 子供ザイレン・納涼まつり





内佐屋町と塩田町それぞれの町内では、 子供たちがユニークな祠(写真⑪:塩 田町)を手作りして参拝し、夕方花火 などで楽しんだようです。

このように、スーパー猛暑に襲われて体調管理が大変だった今年の夏ではありましたが、愛西市でこんなにたくさんの納涼祭、子供ザイレンなどが開

催されていたとは。愛西市の地域多様性を再発見することになりました。今回取材させていただいて、いずれも写真コンテストの良い題材になると思いました。自信作をお持ちの方は是非コンテストに応募下さい。なお、子供ザイレンについては、今回紹介した町内以外でも開催されているかもしれません。開催されていた町内をご存知の方は、愛西市教育委員会に御一報下さい。

木曽川漁業体験・夏の湾処探検



愛西市観光協会では、毎年葛木港周辺で、木曽川自然観察と地引網大会を漁業体験として実施しています。今年の第1回は8月6日(日)午前9時から、第2回は11日(祝・金)午後1時から、第3回は20日(日)午前9時から実施されました。

第1回の8月6日(日)は、台風5号の接近により開催が心配されましたが、当日は絶好の夏休み日和に恵まれ、葛木港に市内外から11組38人の親子連れが集まりました。子供たちと一緒に網を引き、地引網で魚をつかまえました(写真⑫)。収獲は大きな生きの良いボラ(写真⑬)3匹で、じゃんけん大会で勝った家族に持ち帰っていただきました。(5頁に続く)



木曽川漁業体験・夏の湾処探検

第2回の11日(祝・金)は、朝から驟雨があり 実施が心配されましたが、開催時間には雨が止み10 組40人の親子連れが集まりました。地引網の収獲は、 クロダイ(写真⑭)・セイゴ(スズキの幼魚)の計 6匹、じゃんけん大会で勝った家族に持ち帰ってい ただきました。なお、両日共、事前に葛木港の木曽 川に設置しておいた仕掛けには、ベンケイガニやテ ナガエビなど、小さな海老や魚などが入っており、 参加した子供たち全員へ分配して土産にしました。



一方、7月30日(日)、立田町の船頭平閘門周辺で、NP0 法人・木曽川文化研究会と愛西市観光協会が共催して「船頭平閘門舟遊び」が開催されました。スタッフを加えて約200人のみなさんが参加し、木曽川観光船やEボート(ゴムボート)などへの乗船体験、自然素材を使った工作教室、防災教室など川での自然体験にチャレンジして夏の一日を楽しみました。この日は、小潮に当たり潮の干満は少なかったのですが。数日前に上流で降った大雨の影響で木曽川全体が赤く濁り、普段は見られない風景が現れました。

また、8月3日(木)、羽島市の馬飼大橋下に広がる木曽川河川敷で、木曽川下流河川事務所が 主催し、あま市教育委員会「あまっこ環境塾」の子供たち、あいさいボランティアガイドの会など

約60人が参加して「水生生物による水質調査」が実施されました(写真⑤)。数日前に上流で降った大雨の影響で、昨年より増水し水質も濁っていましたが、今年も子供たちが大喜びで、ナマズ、ウナギ、アユなどの小魚を見つけ、また、カワニナ(貝)など環境の良し悪しを示す水生生物から『ややきれいな水』と判定されました。いずれの事業も子供たちの良い夏休みの思い出になったと思います。



さらに、8月9日(水)には、愛西市教育委員会主催の「あいさい物語」8月事業が木曽川背割提で実施され、受講者約30人が参加しました。前日が旧暦6月15日に当たる大潮であり、干潮時には木曽川河川敷に大きな干潟が現れる予定でしたが、残念ながら、7日(月)に台風5号がもたらした大量の雨で木曽川が増水し、江戸時代の堤防は、頭を出しただけでした。

それでも「夏のワンダーワンド (湾処) 探検」としては、草木が生い茂り、森にセミの鳴き声が響き渡り、たくさんの蟹が足元を動き回る、春とは異なる風情となった湾処を散策することができました。同時に、大量に増水し赤く濁った大河・木曽川の姿、その自然の驚異を実感することもできました。写真は8月8日(火)夕方に撮影した増水した木曽川葛木港の様子です(写真⑯)。



~ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ~

9月10日(日) 紙芝居『よこいしょういちさん』読み聞かせ(愛西市中央図書館主催)

30日(土) 出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト募集 締め切り

10月 1日(日) 秋まつり(大井町他)

8日(日) 鵜戸川釣り大会(問合先:愛西市土木課)

8日(日) 秋まつり(西保町他)、薬師堂御仏事(鵜多須町)

11日(水) 蓮台手芸教室(愛西市観光協会主催、於:道の駅立田ふれあいの里)

29日(日) 蓮台手芸教室(愛西市中央図書館主催)

VG9月定例会の予定

集合時間:9月17日(日)9時~ 集合場所:愛西市文化会館

内 容:2017年度の事業について

◇8月定例会(8月20日(日)13時~15時、於:安泉寺(三和町)、20人出席)議事録

- 1) 秋の催事について
 - ・8月後期に予定されている行事について、日程と担当者を確認しました。
 - ・鵜戸川釣り大会など予定が決まっている催事日程を案内しました。
- 2) 7~8月の活動について
 - ・尾張津島天王祭、船頭平閘門舟遊び、水生生物による水質調査、西尾張地区 VG 連絡協議会、 個別ガイド依頼など、7~8月に実施した活動行事について結果報告しました。
 - ・その中で、漁業体験については、来年実施に向けての意見交換をしました。

8月20日(日)午前中は、絶好の川遊び日和となり、午前9時から第3回の漁業体験が開催されました。今回は、12組42人の親子連れが集まりました。地引網の収獲は、アユ・クロダイ・セイゴ・ウグイの計8匹で、じゃんけん大会で勝った家族に持ち帰っていただきました。今回は太ったアユが初めて捕れて、参加した皆さんが驚き喜びました。なお、毎年実施されている漁業体験では、参加した皆さんの休憩地として三和町の安泉寺を利用させていただいています。



出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト 締め切り迫る

詳細は、愛西市観光協会 HP: http://www.aisaikankou.jp を参照下さい。 応募・問い合わせは、愛西市観光協会まで

愛西市観光協会:愛西市森川町井桁西27 電話:0567-55-9993

<写真コンテスト 応募方法>

ご協力ありがとうございます。

- ・応募作品は、四つ切(ワイドも可)写真とさせていただきます。
- ・応募は、応募票(作品名・撮影日・撮影場所・氏名・年齢・住所・電話を記入)を作品に添付(写真裏面に貼付)して郵送(上記住所宛)または持参にて、愛西市観光協会事務局へ締め切り日までに提出下さい。